

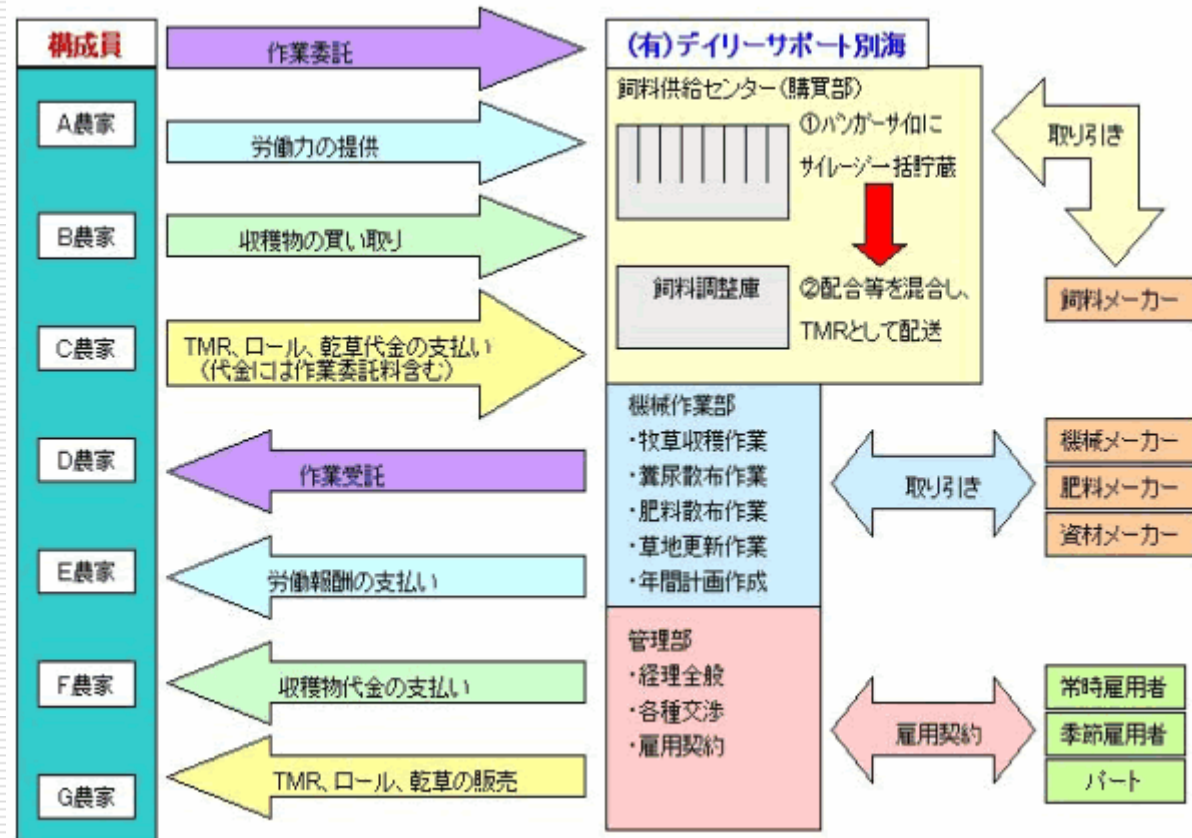
農業・水産業

デイリーサポート別海(事例)

有限会社デイリーサポート別海は、増頭や草地面積の拡大で労働力が限界にきていること、草地面積の拡大に伴って適期収穫、良質粗飼料の確保が困難になっていることなどに対応するため、平成13年に設立された。

なお、設立当時の出荷乳量9,023トン、個体乳量608キロから、平成17年にはそれぞれ9,778トン、737キロと規模拡大、効率化が図られている。

【デイリーサポート型システムの概要】



資料) <http://www.aurens.or.jp/TMR/betsukai/index.html>ほか

農業・水産業

鶴居村トミーランド牧場(事例)

有限会社トミーランドは、下雪裡地区の6戸の酪農家が協業し、平成8年から法人経営を開始した。近年、農畜産物の自由化が進むなかで、国際化に対応した足腰の強い酪農づくりと従来の個人経営での労働面を改善することを目的として設立された。

農場には、フリーストールやパーラーシステム、ふん尿処理のための固液分離施設、コンピューターによる乳牛飼養管理システム等を導入し、生産性の高い酪農経営と魅力ある牧場づくりを目指している。

農場の沿革

- ・事業開始 1996年1月1日
- ・参加世帯 6戸
- ・従業員数 15名(役員5名、社員5名、パート5名)
- ・経営面積 269ha(草地227ha、耕地32ha、放牧地10ha)
- ・家畜頭数 705頭(経産牛430頭)
- ・出荷乳量 1日約9,600キロ

【トミーランド牧場のメリット】

法人経営のメリット

所得・社会保障の充実

- ・年間所得一人5,000千円
一家族8,550千円
- ・労働保険、健康保険、厚生年金、福利厚生の充実
- ・退職金制度の導入

労働時間短縮

- ・他産業なみの労働時間
(年1,700~2,000時間)
- ・4週6休の導入
- ・婦人労働の軽減

国際化への対応

- ・将来の乳価低下に対応
- ・生産調整に柔軟に対応

担い手育成・確保

- ・新規就農希望者の研修及び受け入れ
- ・常時雇用の実績

農業従事者減少の阻止

- ・地域内再雇用の場
- ・地域への波及効果による生産意欲の醸成

環境に優しい農業

- ・自然環境との調和
- ・都市住民、消費者、観光客との交流

↓
新政策の先取り・・・鶴居村農業発展に寄与

農業・水産業

JAはまなか 緑の回廊プロジェクト(事例)

このプロジェクトは、JAはまなかによって、浜中町の豊かな自然を次世代につないでいくために、酪農家を中心としたまちぐるみでの取り組みで、平成14年には浜中町により「浜中町農村環境保全整備会議」も設立されている。

この会議では、土砂流入対策や環境保全・景観整備、経済と環境の両立などについて、具体的な取り組みが行われている。

【平成14年 桜並木の整備】



活動状況

- ・国営かんがい排水事業による排水路整備、河畔林整備
- ・緑の回廊整備に伴う林帯整備、桜並木整備
- ・牧草畑、パドック等の環境、景観に配慮した酪農基盤整備
- ・酪農家72戸から、町内牧草地の1.6%を占める192haの牧草地提供を受けている

農業・水産業

標津町地域HACCP推進委員会（事例）

標津町は、秋鮭の生産量日本一を誇るが、積極的な衛生対策等地域をあげた水産物の品質高度化に対する取り組みのなかで、標津町地域HACCP推進委員会が設立された。

日本初の「水産食品安全管理システム」地域HACCPの実践

推進委員会の目的は、標津の豊かな海から獲れる秋サケやホタテ等の水産食料資源を「安心・安全で高品質」な状態で食卓届けるため、生産者から市場・加工場・運送業まで地域一体となって、従事者の健康管理、環境調査、衛生教育（人材育成）、生産・製造管理の記録等を実施し、地域HACCPを実践している。

またこれらの証として製造された製品には、認定査察後に「地域ハサップ認証製品」として認定し、「地域ハサップシール」を貼付する取り組みも実施している。



農業・水産業

食産業の振興(マリンビジョン) 「知床」羅臼地域、根室地域(落石地区)

マリンビジョンでは、1.水産物の安定供給基盤の確保、2.環境保全と循環型社会の構築、3.安全・安心な水産物の安定生産体制の確保、4.漁村・地域の総合的な振興を目指すべき姿として掲げており、地域の総合力向上やブランド化が期待されている。

羅臼漁港： 屋根付岸壁や低温清浄海水導入施設など
都市漁村交流の体験学習拠点や観光船発着施設など

落石漁港： 屋根付岸壁や清浄海水導入施設など
増養殖などの蓄養施設や海水交換施設、自然調和型施設など
都市漁村交流のための漁港内公園や直販施設、海のフットパス

【羅臼漁港屋根付岸壁】



【羅臼漁港低温清浄
海水取水管敷設状況】



【屋根付岸壁上での低温清浄
海水の利用想像図(サケ漁)】

農業・水産業

浜中町就農者研修牧場(事例)

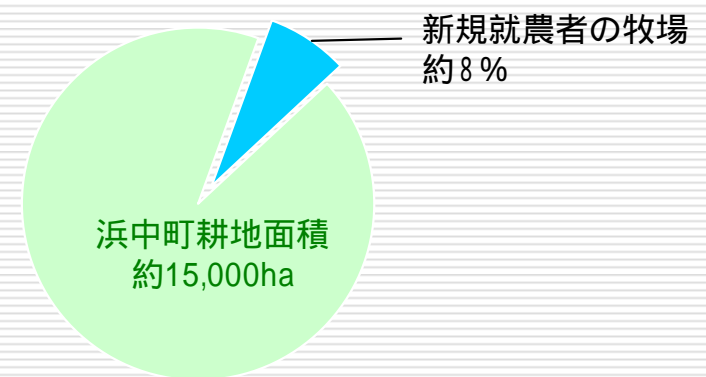
浜中町では、全国に先駆けて「新規就農者研修牧場」を建設し、乳牛100頭を擁する近代的な設備のもとで効率的に酪農技術を習得できる体制を整えた。

町では、この施設に酪農未経験者などの就農を希望する多様な人々を研修生として受け入れ、空き牧場が発生したときに、技術の習得状況によって研修生にその牧場を紹介しているが、現在までに町内に11組の牧場が開設している。

現在、浜中町全体の耕地面積は約15,000haであるが、新規就農者による牧場はそのうち1,127.4ha(23戸、うち研修終了者11戸)であり、全体の約8%を担っていることになる。

【研修終了者の牧場が占める耕地面積の割合】

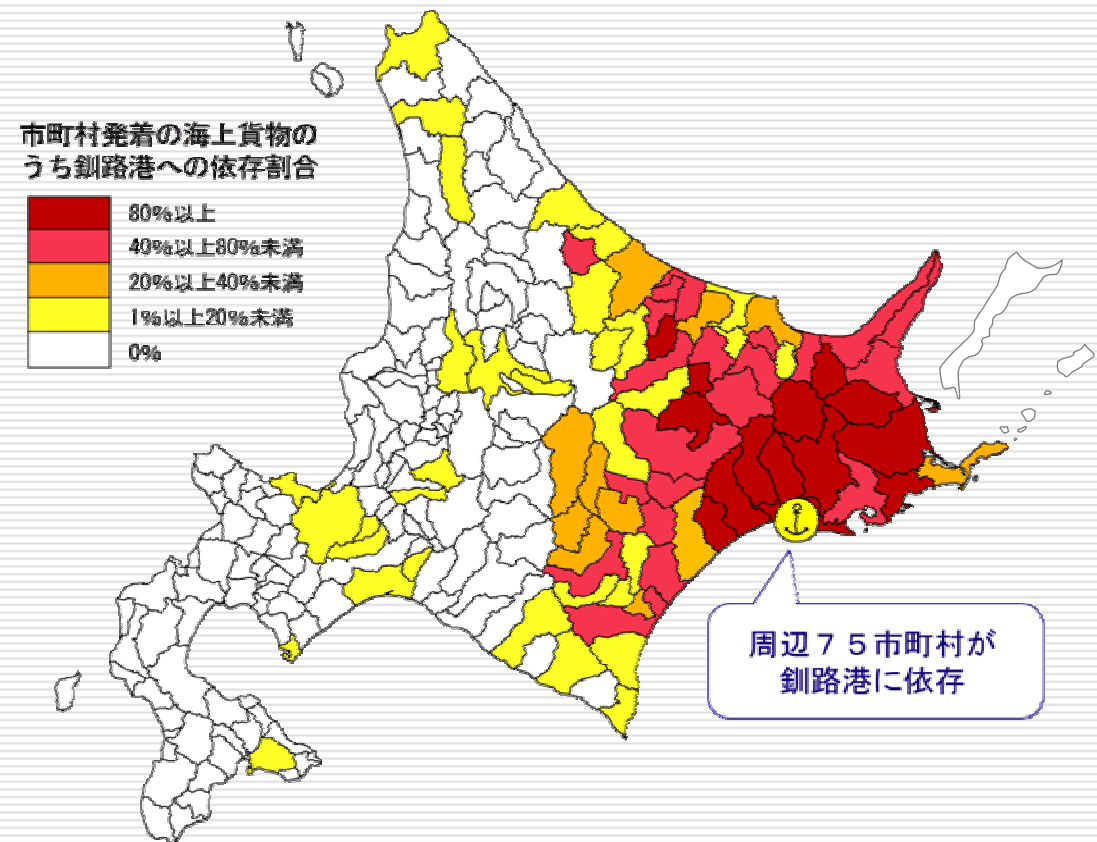
【浜中町就農者研修牧場】



物流

釧路港の役割

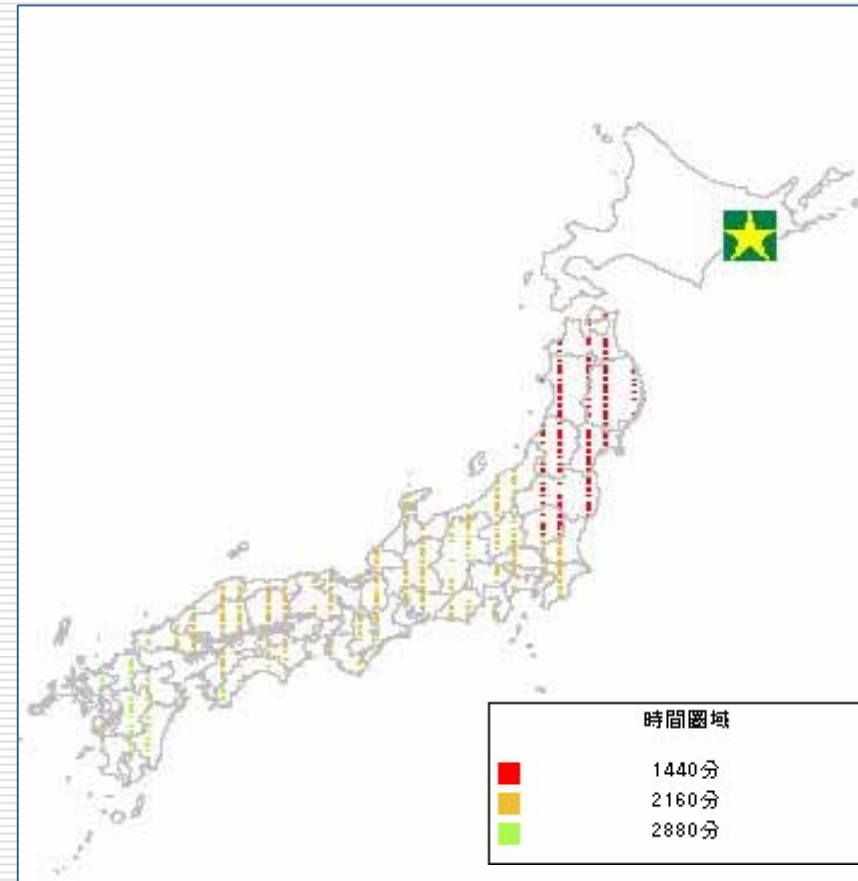
右図は釧路港を活用した道内市町村発着の海上貨物の流通の例を示したものであるが、釧路港に依存している市町村が広域にわたっていることがわかる。このように、流通の現状は非常に広域的であることから、物流を検討する際には、広範囲な交通アクセスの改善なども考慮する必要がある。



物流

釧路港を起点とした道外時間圏域

釧路港を起点として、船便による道外への輸送時間（時間圏域）をみると、東北方面が1日圏内となり、関東、中部、関西方面など本州の大半は1日半圏内となる。
 なお、九州及び四国と中国地方の一部が2日圏内となっているが、いわゆる「大消費地」向けには1日半が目安となる。



注) 移動時間は「NITAS」の「平均旅行時間」による。

地域や高速、国道、道道などの種別により異なるが、道内国道は概ね平均時速42km程度。

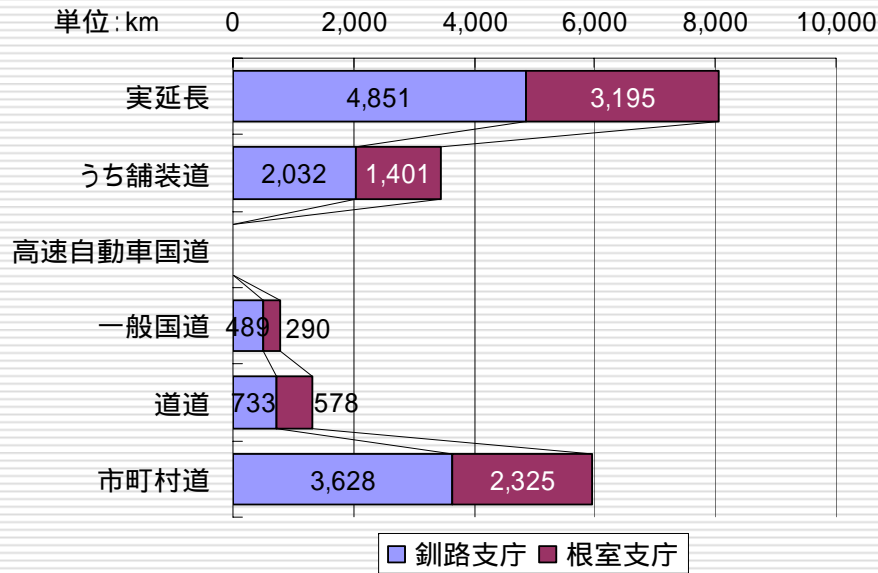
総合交通分析システム(NITAS)により未来総研作成

物流

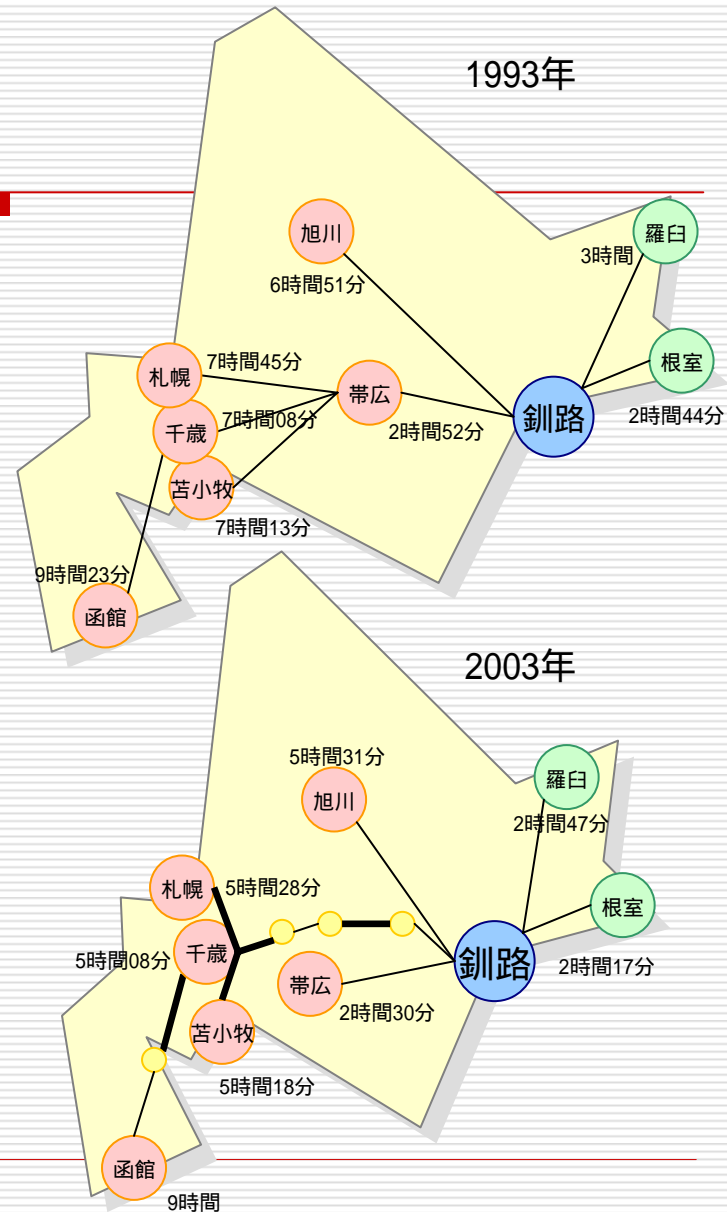
道路による移動の高速化

札幌や旭川などの移動時間は、高速道などにより20%以上の短縮化が図られている。
 一方で管内の道路実延長距離は8,046kmとなっているが、根室や羅臼、近隣の帯広などの時間距離はあまり短縮化が進んでいない。

【管内道路普及率】



【道路による移動時間の推移】



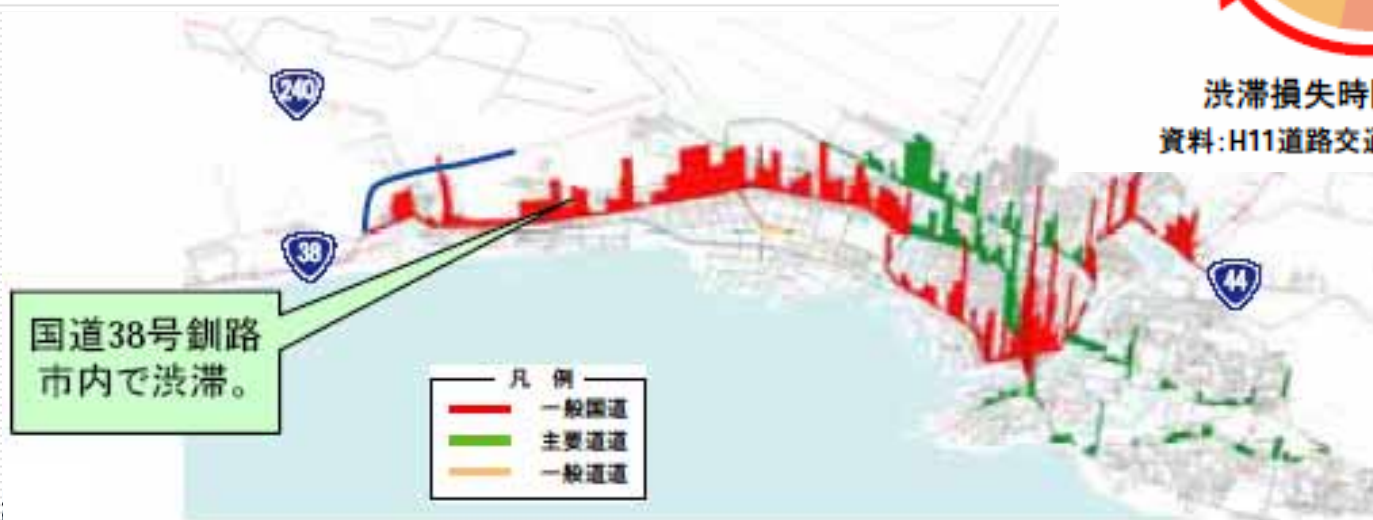
北海道の道路ポケットブック2004 (北海道開発局) 等により作成

物流

道路の定時性確保

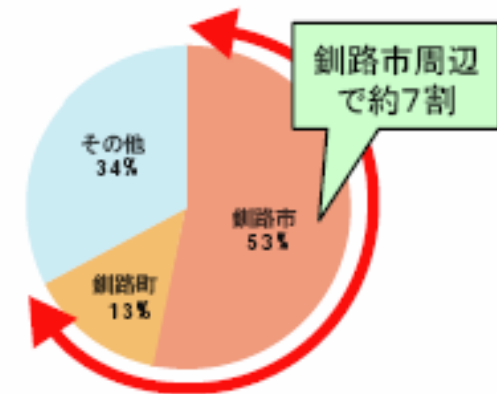
釧路・根室地域の渋滞状況を見ると、国道38号及び釧路市内で顕著となっている。

なお、交通渋滞による損失時間をみると釧路市で地域の約5割を占めており、隣接した釧路町と合わせると約7割近くが釧路都市圏に集中している。



釧路市周辺における渋滞損失3Dマップと対策概要

資料：H15プローブカーデータによる推計値



渋滞損失時間の割合 (H16)

資料：H11道路交通センサスによる推計値

物流

輸出拡大に向けた取り組み

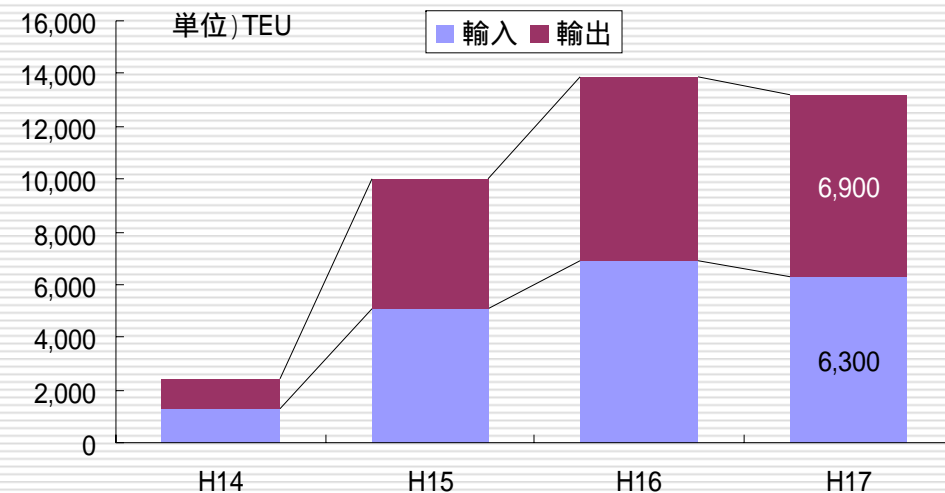
外貨コンテナ貨物

釧路港の第4埠頭において - 14m岸壁が供用開始となり、平成14年8月より韓国・釜山港との外貿コンテナ定期航路が開設された。

平成17年は通年運航3年目で、輸出6,900TEU、輸入6,300TEUの合計13,200TEUと平成16年の13,873TEUを下回ったが、外貨コンテナ貨物の取り扱いは引き続き好調で、臨時便が12便運航し、定期便と合計で64便が運航された。



【釧路港における外貨コンテナ貨物の推移】



TEU) 20フィートコンテナに換算してコンテナの数量を計る単位。20 Footer Equivalent Unit。

外貿コンテナ貨物の推移 (北海道開発局調べの速報値)

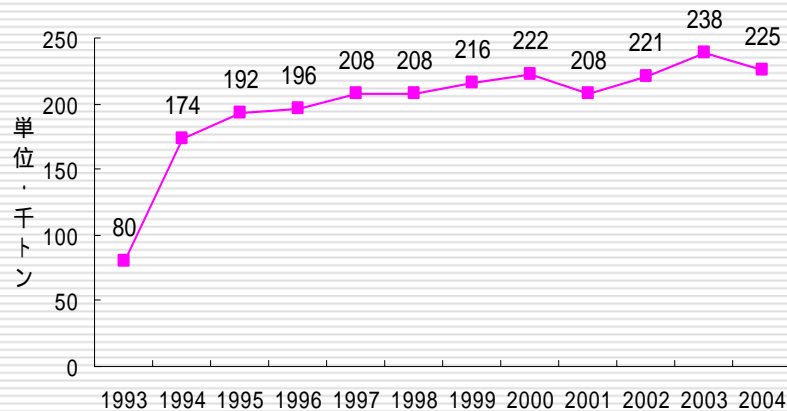
物流

物流の効率化に向けた取り組み(事例)

生乳の物流に関する取り組み(ほくれん丸)

釧路・根室地域では、年間約133万トンと日本一の生乳生産量(全国の約1割)を誇っているが、「ほくれん丸」の就航により、道外向け出荷が活発化しており、1997年以降は20万トン台で推移している。

【ほくれん丸及び第2ほくれん丸生乳移出実績推移】



観光

観光資源の分布及び利活用状況

観光資源の分布

大手旅行代理店のパンフレットなどからみた主要観光資源は31カ所で、1資源あたりの入込客数はおよそ30.1万人（平成16年）となる。

入込客数の多い道央を除いて比較すると、最も多いのが道南の83.1万人で、近隣のオホーツクが40.8万人、十勝でも41.0万人となっており、資源数との対比で見ると少ない。

